R8.4始動

# コスメティックサイエンス学環
# 教育学部共同教員養成課程

# ビジョン2030実現に向けた教育組織改革

## ビジョン2030

－ 志、挑戦、そして未来へ －

### 佐賀大学が目指す2030年の姿

### 教育、社会貢献のためのアクション

- 分野横断型の学位プログラムの構築
- 地域社会の期待に応える人材輩出
- 地域課題の解決に資する企業との連携強化
- 多様な学生が互いを刺激・学びあう場の創造

# 第４期中期計画期間（2022－2027）における教育組織改革

**ビジョン2030の実現のため全学的な教育組織の改革を実行**

R7.8.4付け

## コスメティックサイエンス学環（R8.4設置）

佐賀県コスメティック構想と連携した本学環の設置は、地域社会への貢献、産業振興、人材育成など、地方国立大学の使命を果たし、地域の発展に寄与

入学定員30名（理工学部10名、農学部20名を活用）

**第１期卒業生の輩出**
(コスメ学環、教育学部の1期生)

2024(R6) → 2025(R7) → 2026(R8) → 2027(R9) → 2028(R10) → 2029(R11)

R7.8.6付け

## 熊本大学との共同教員養成課程（R8.4設置）

熊本大学と相互に教育資源を活用することで２０～３０年後も県内唯一の教員免許フルスペックを維持（佐賀県における教員養成の責任を担う）

入学定員120名

**理工学部入学定員増（30名）**

・デジタル分野の拡充

## 経済学部改組（R9.4設置予定）

・データを活用した社会課題解決に向けた企画提案実践ができる人材を育成

・経済理論を基礎学力として、デジタル技術を駆使した経済分析や政策立案ができる人材を育成

**農学部入学定員増（30名）**

**理工学研究科入学定員増(20名)【予定】**

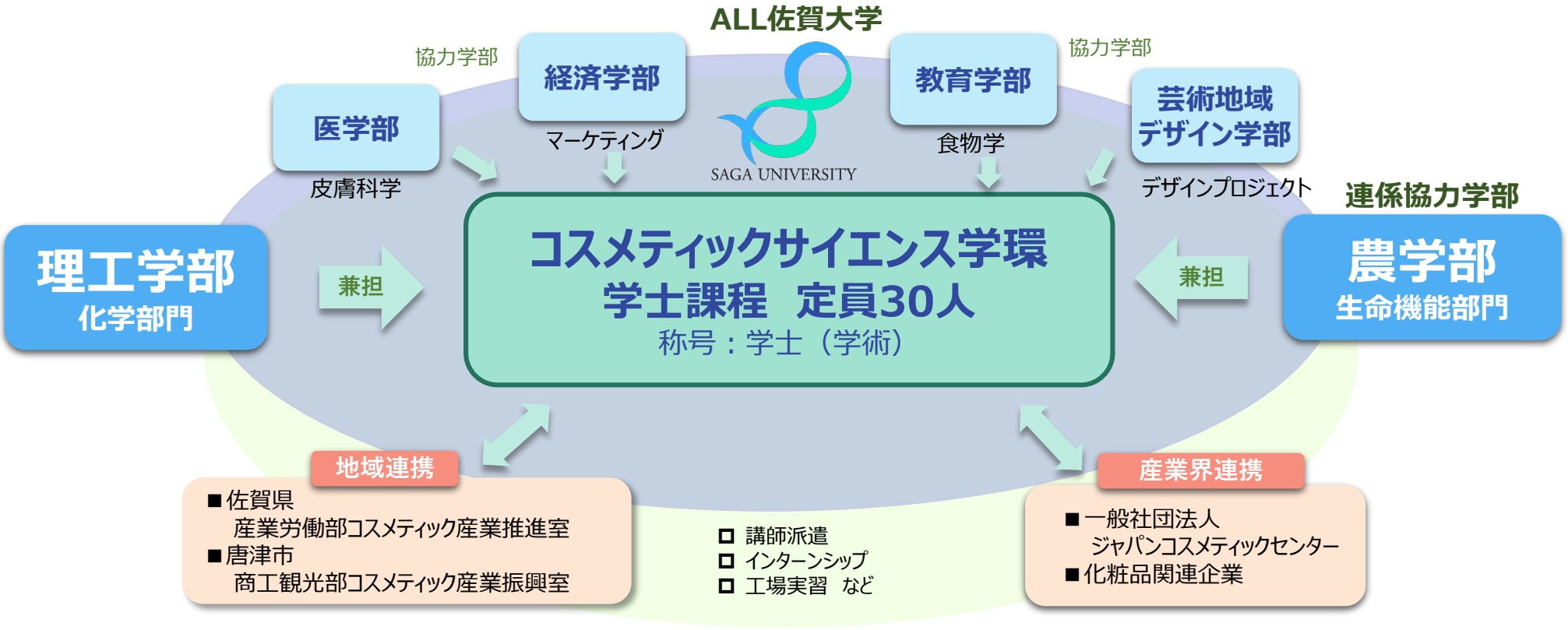
# コスメティックサイエンス学環

## 設置目的

- 総合大学の知的資源と研究成果を活かした、化学・生物学などの横断的な学びを基盤とした分野の設置
- 佐賀県コスメティック構想など地域産業の発展・成長に貢献
- 世界の化粧品市場において優位にある日本の化粧品産業の成長に貢献できる人材育成
- 化粧品産業に関心の高い女子学生の受け皿として、理系女性の活躍・拡大に寄与

## ※国内外の設置状況（大学院含む）

- 国内：私立３
- 海外：米国(7)イギリス(7)カナダ(2)　フランス(1)ドイツ(2)イタリア(4)シンガポール(1)スペイン(4)インド、スリランカ、パキスタン、タイ、韓国などにも設置あり




## 養成する人材像

- 化粧品分野の包括的な専門性を修得し、化粧品の開発・製造に携わる技術者
- 科学的根拠を基にした化学物質の安全管理・適正利用ができる専門人材
- コスメティックサイエンス分野において、学際的な素養を持ち、将来イノベーションを興せる人材

## 予想される進路

- 化粧品産業、食料品・飲料産業
- 化学工業、公務員、大学院進学

# 教育学部共同教員養成課程

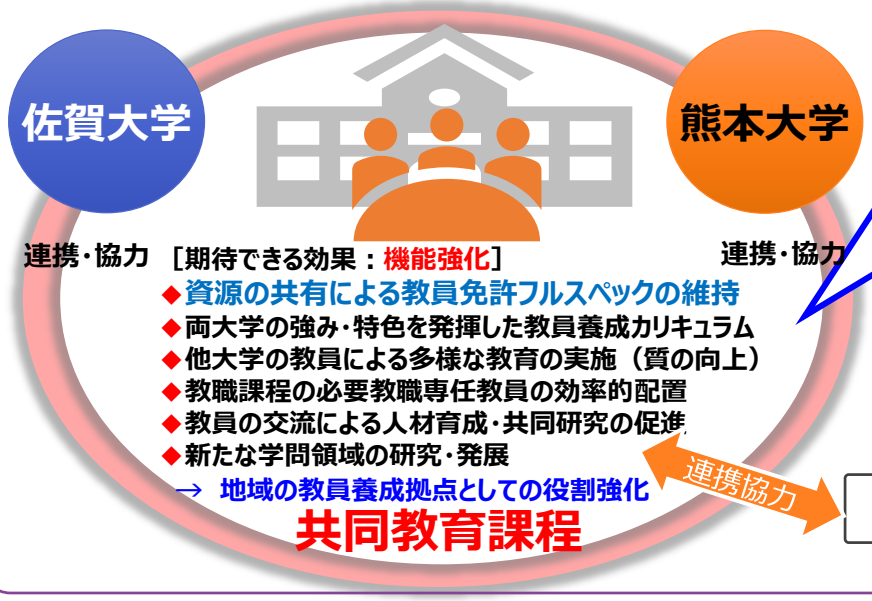
## 背　景

令和元年6月18日「国立大学改革方針」（文部科学省）
●国立大学の適正な規模：教員養成系大学・学部の高度化と、他大学との連携・集約

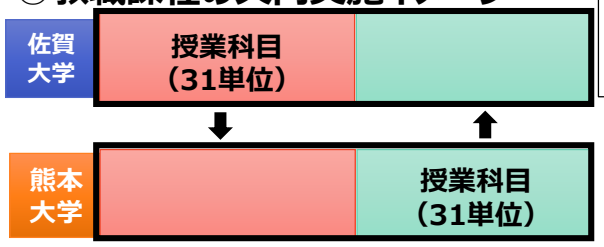
令和4年12月19日（中央教育審議会答申）
『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について
～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質高い教職員集団の形成～
●教員就職率の向上、組織体制の見直し
教委と連携した地域課題解決に対応したカリキュラムの構築等、定員の見直し・大学間連携・統合に係る検討等

## 共同教育課程の概要

□・構成大学は、一の大学が開設する授業科目を、その他の大学の教育課程の一部とみなして、同一内容の教育課程を編成
□・学生はそれぞれの構成大学において共同教育課程の開設した授業科目の単位をそれぞれ31単位以上取得
□・共同学科等の課程を修了した学生に構成大学による連名の学位（共同学位）を授与




○教職課程の共同実施イメージ




- 基礎的な必修科目を分担教職専門科目を分担して実施
  etc.

→最低限取得すべき単位数（31単位以上）以外の「共同科目」、「シラバス共通科目」、「独自科目」について協議中

- ICTを用いた双方向遠隔授業
- 学生・教員の移動による講義
- 集中講義等による科目開講時期の工夫により対応

⇒ 学生には支障のない教育環境の提供が可能

# SAGA

国立大初

## 佐賀大学
# コスメティックサイエンス学環

学びは、鏡の中だけじゃない。

令和８年（2026年）４月開設［定員30名］

# 佐賀大学だからできる環境で
# 化粧品をサイエンスの視点から学ぶ。

コスメティックサイエンスとは、化粧品やその原料に含まれる化学物質が、体にどのように関わるのかを研究する分野です。理学系、農学系などの分野を超えた学際的な視点で、化学物質の有効性や安全性を幅広く学びます。そのコスメティックサイエンスを学べる学環が、2026年4月に日本の国公立大学において初めて佐賀大学に誕生します。大学と自治体や企業が協力して、学びの環境を整え、成長を続ける化粧品市場を支える人材を養成します。

# 養成する人物像

## 化粧品産業を担う人材

コスメティックサイエンス分野における包括的な専門性を身につけ、開発・製造に貢献できる技術者

## 化学物質の安全管理・適正利用を担う人材

科学的根拠に基づき、化学物質の品質・安全性を正確に評価できるスペシャリスト

## 学際的な素養を持ちグローカルに活躍できる人材

理学系・農学系などの分野を超えた学際的な視点で、コスメティックサイエンス分野を中心とした地域産業に貢献し、地域から世界へ羽ばたく人材

# 特色あふれる教育体制

## 6学部の協力による学際的な学び

化学・生物学を中心に、化粧品に含まれる化学物質の安全性や有効性、マーケティングやデザインなど、6学部を有する総合大学ならではの強みを生かして、化粧品をテーマとした分野横断型の学際的な学びを提供します。

## 実験重視の実践的カリキュラム

講義と実習を組み合わせ、知識を実際に使いこなす力を養います。低学年時から始まる実験や企業と連携したプロジェクト学習に取り組み、4年次の卒業研究につなげる実験重視の教育を行います。理論を実社会で応用する実践力を養います。

## 地域・産業との連携

佐賀県が推進する「コスメティック構想」と密接に連携し、県内の化粧品関連企業や研究機関と協力して、企業の研究者による特別講義や、地元企業でのインターンシップの機会提供などを予定しています。地域産業の課題を教育に取り入れ、学生が実社会のニーズに触れながら学べる環境を構築します。

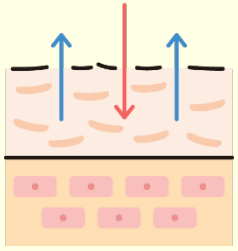
# カリキュラムの特長

学環独自で開講する…

## コア科目

化粧品の成分や製造・開発など、コスメティックサイエンス分野に必要な専門知識とスキルの習得、さらに課題発見・探究能力を身につけるための、本学環での学びの中心となる科目区分。

- コスメティックサイエンス概論
- コスメティックサイエンスPBL
- コスメ開発論Ⅰ，Ⅱ
- コスメティックサイエンス実験Ⅰ～Ⅳ
- 有機化学Ⅰ，Ⅱ
- 生化学Ⅰ，Ⅱ
- 機器分析学
- コロイド・界面化学
- 微生物学
- 皮膚科学
- 卒業研究　　など



理工・農学部と連携開講する…

## 理学系・農学系科目

コア科目の学びに必要な化学および生物学の基礎を体系的に習得するための科目区分。理工学部や農学部の学生と共に受講する。

- 無機化学
- 物理化学
- 溶液化学
- 化学熱力学
- 生物無機化学
- 分析化学Ⅰ，Ⅱ
- 分子生物学
- 酵素化学
- 植物資源学
- 植物生理学
- 植物育種学　　など

各学部の提供による…

## 学環周辺科目

コスメの歴史や文化、化粧品関連法規、薬理学、パッケージデザイン、マーケティング、知的財産権など、コスメティックサイエンスの多面的理解のための科目区分。

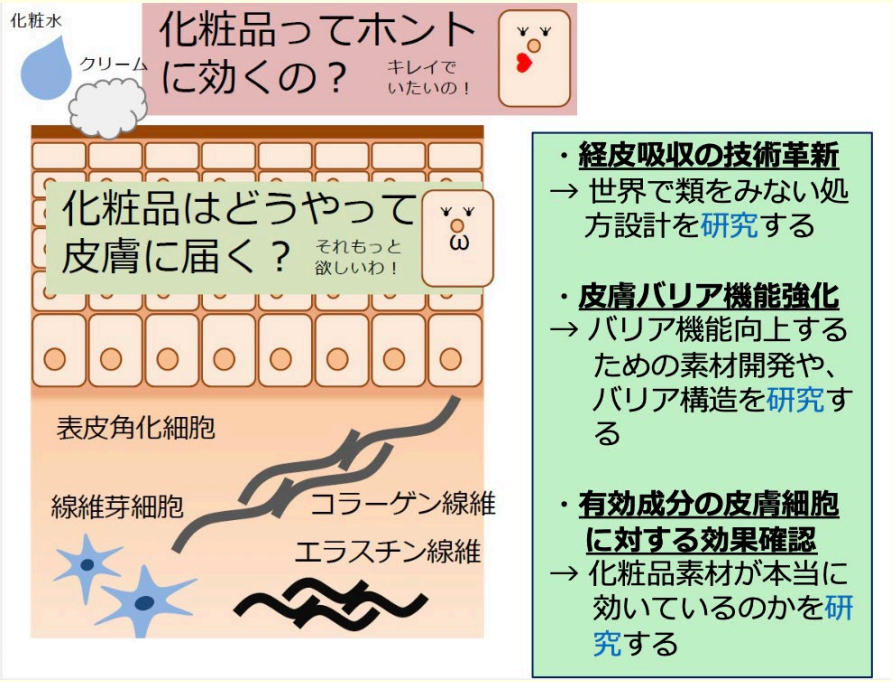
- コスメ文化論
- 科学技術者倫理
- 分子薬理学
- デザインプロジェクト演習
- マーケティングマネジメント
- 知的財産法
- 企業インターンシップS,L　　など

# 想定している卒業後の進路

- 化粧品産業（化粧品メーカー）
  業務内容: 研究開発、製品開発、品質管理、マーケティング
- 化粧品産業（化粧品関連のスタートアップ企業）
  業務内容: 新製品の企画・開発、マーケティング、ビジネス開発
- 食料品・飲料産業（食料品・飲料メーカー）
  業務内容: 食品添加物の開発、品質管理、製品の安全性評価
- 化学関連産業（原料メーカー、化粧品専門商社など）
  業務内容: 原料の開発、品質評価、安全性試験
- 公務員（自治体の産業振興部門など）
  業務内容: 地域産業の振興、地元企業との連携、地域ブランドの開発
- 大学院進学

# コスメティックサイエンス学環

## 経皮吸収技術の開発



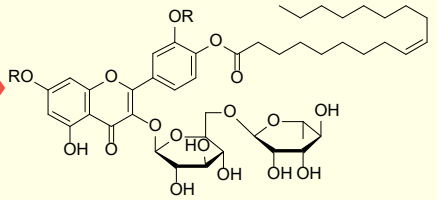

- **経皮吸収の技術革新**
  → 世界で類をみない処方設計を研究する
- **皮膚バリア機能強化**
  → バリア機能向上するための素材開発や、バリア構造を研究する
- **有効成分の皮膚細胞に対する効果確認**
  → 化粧品素材が本当に効いているのかを研究する

## 天然物由来の有効成分の抽出・合成

佐賀県産天然資源

タマネギ外皮

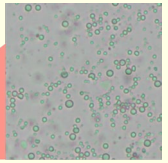
抽出　合成




新規化合物

配合

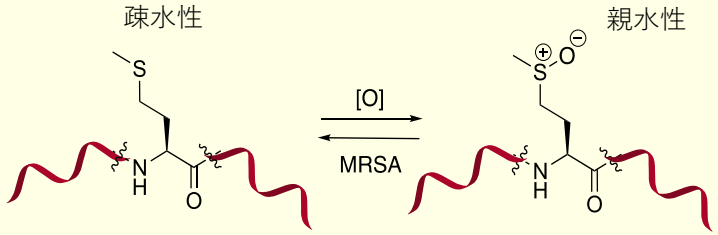
クリーム



乳化

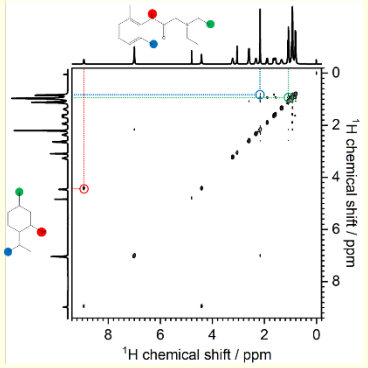
**⇒化粧品材料（ノニオン性乳化剤）**

## 機能性分子（炎症抑制等）開発




炎症部位などで起こる酸化で抗菌性を獲得する複合機能を持つスキンケアペプチド

## 化粧品の成分分析・品質保証



## これまでの県・市と佐賀大学とのつながり

佐賀大学では以前から佐賀県及び唐津市と化粧品科学分野に関する共同研究を推進
・2019.4、唐津市に置く唐津キャンパスをコスメ及びヘルス関連プロジェクトの拠点として体制を整備
・2021.6、佐賀県からの支援を受け、化粧品科学共同研究講座を設置

## ●更なる連携強化を図るため、化粧品科学における県・市との連携協定の締結

**2025年5月20日付締結-佐賀県**

**・化粧品科学に関する専門的知識・技術を持つ人材の育成を目指し、県と佐賀大学との間で人事交流を検討中**

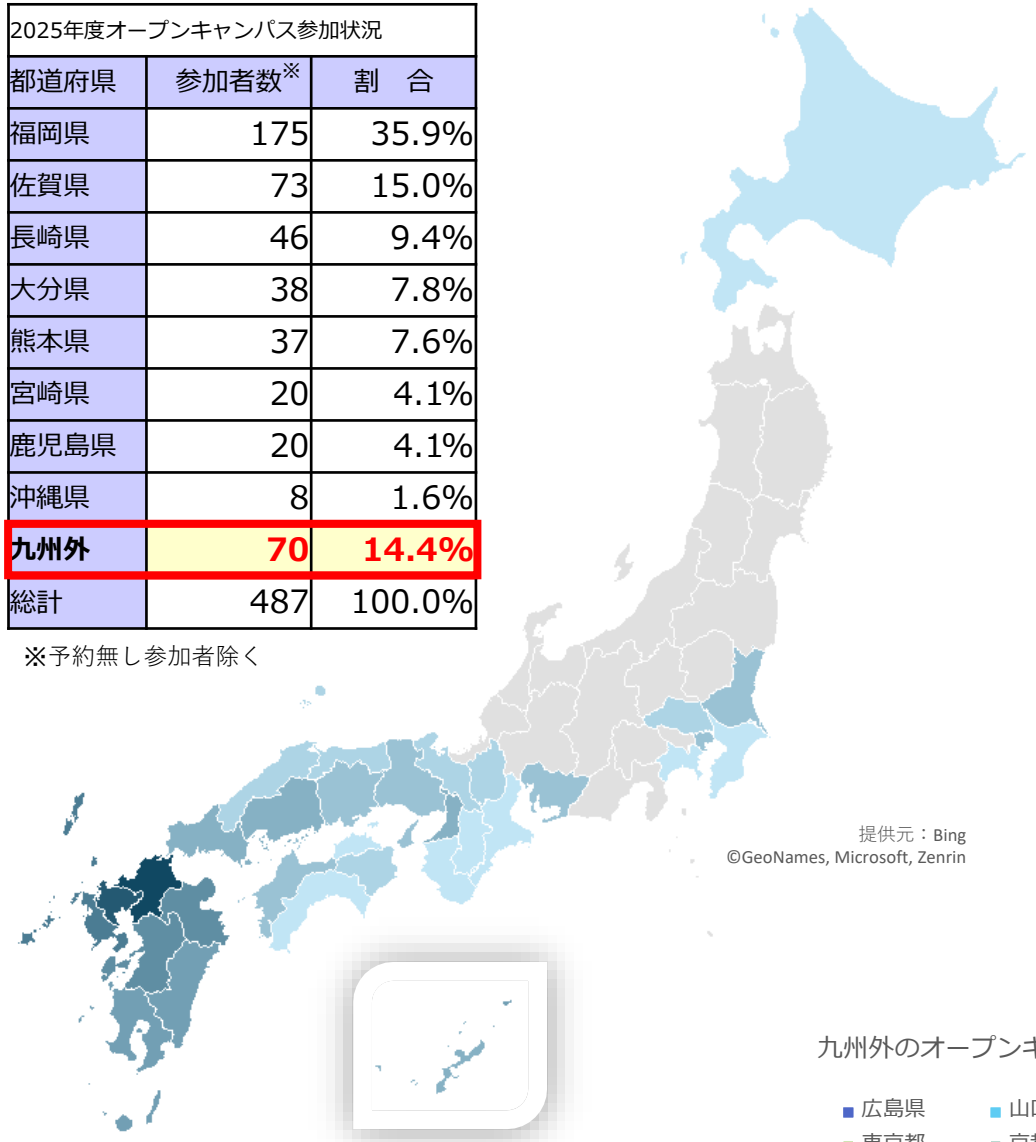
**2025年3月31日付締結-唐津市**

**・唐津市のコスメ環境を活かした現場実習による人材育成のほか、市と佐賀大学の共同研究を推進し、地産素材を活用した新たな化粧品関連商品の開発を将来的に目指す**

佐賀大学ではコスメティックサイエンス学環の創設により、**県内での化粧品科学教育を充実させ、地域における化粧品関連産業・事業の更なる振興を図る**ことの一環として、
2025年8月時点で佐賀県及び唐津市との間で化粧品科学における連携協定を締結しています。

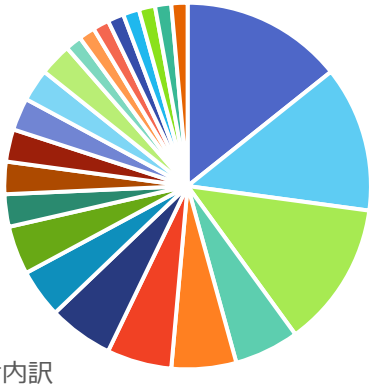
| 2025年度オープンキャンパス参加状況 | | |
|---|---|---|
| 都道府県 | 参加者数※ | 割　合 |
| 福岡県 | 175 | 35.9% |
| 佐賀県 | 73 | 15.0% |
| 長崎県 | 46 | 9.4% |
| 大分県 | 38 | 7.8% |
| 熊本県 | 37 | 7.6% |
| 宮崎県 | 20 | 4.1% |
| 鹿児島県 | 20 | 4.1% |
| 沖縄県 | 8 | 1.6% |
| **九州外** | **70** | **14.4%** |
| 総計 | 487 | 100.0% |

※予約無し参加者除く



提供元：Bing
©GeoNames, Microsoft, Zenrin

## オープンキャンパス（R7.8.8）
## 午前・午後ともに全席予約満員



九州外のオープンキャンパス参加者内訳

広島県　山口県　大阪府　愛知県　愛媛県　岡山県　兵庫県　茨城県
東京都　京都府　埼玉県　滋賀県　鳥取県　島根県　徳島県　香川県
高知県　三重県　神奈川県　千葉県　奈良県　北海道　和歌山県

佐賀大学 × 熊本大学

# 教育学部共同教員養成課程

令和８年（2026年）４月開設［定員１２０名］

# 教育学部　共同教員養成課程

NEW

国立大学法人 佐賀大学 × 熊本大学 Kumamoto University

## 国立大学2校が連携し
## さらに充実した教育環境を実現。

実践的指導力に優れた佐賀大学教育学部と、産学官連携を探究する熊本大学教育学部。両教育学部の教育研究資源を集結した新たな共同教員養成課程が、2026年4月に始まります。多様なバックグランドを持つ両大学の教授陣の講義を受けることで知見を広め、大学を超えた交流により協働力を身につけます。複雑で多様な現代の教育現場で伸びやかに能力を発揮できるよう、「強靭な思考力」と「柔軟な対応力」を兼ね備えた教員の育成を目指しています。

# 教育学部の教育目的

**生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点で見据えながら、**
**現代社会の幼児・児童の変化に伴う様々な教育課題に応える学校教員の養成。**

**目的を成し遂げるための目標**
**小学校段階の英語教育への対応力を身につける**
**科学的思考力を身につける**
**人権尊重の視座に基づく社会観察力を身につける**
**ICTリテラシーを身につける ・・・**

**さらに、共同教員養成課程になることで**
多様な価値観に出会い、広がりと奥行きのある知見に接し、大学を超える交流、
**「強靭な思考力」「柔軟な対応力」**を備えた学校教員の育成。

# 教育学部共同教員養成課程

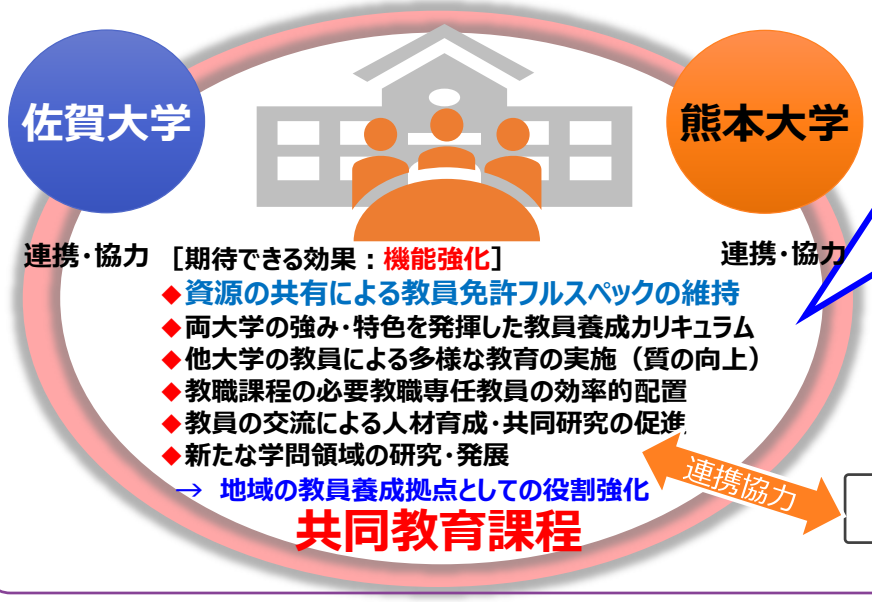
## 背　景

令和元年6月18日「国立大学改革方針」（文部科学省）
●国立大学の適正な規模：教員養成系大学・学部の高度化と、他大学との連携・集約

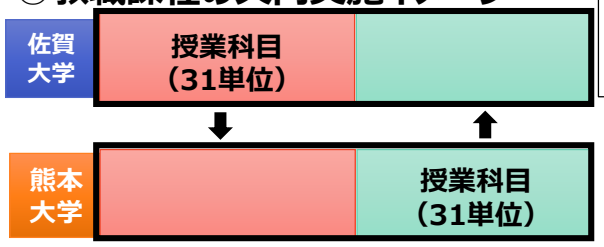
令和4年12月19日（中央教育審議会答申）
『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について
～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質高い教職員集団の形成～
●教員就職率の向上、組織体制の見直し
教委と連携した地域課題解決に対応したカリキュラムの構築等、定員の見直し・大学間連携・統合に係る検討等

## 共同教育課程の概要

□・構成大学は、一の大学が開設する授業科目を、その他の大学の教育課程の一部とみなして、同一内容の教育課程を編成
□・学生はそれぞれの構成大学において共同教育課程の開設した授業科目の単位をそれぞれ31単位以上取得
□・共同学科等の課程を修了した学生に構成大学による連名の学位（共同学位）を授与




○教職課程の共同実施イメージ




- 基礎的な必修科目を分担教職専門科目を分担して実施
  etc.

→最低限取得すべき単位数（31単位以上）以外の「共同科目」、「シラバス共通科目」、「独自科目」について協議中

- ICTを用いた双方向遠隔授業
- 学生・教員の移動による講義
- 集中講義等による科目開講時期の工夫により対応

⇒ 学生には支障のない教育環境の提供が可能

# 共同教員養成課程の3つのポイント

1

構成大学は、一つの大学が開設する授業科目をその他の大学の教育課程の一部とみなして、**同一内容の教育課程を編成**

2

学生はそれぞれの構成大学において共同教育課程の開設した授業科目の単位をそれぞれ**31単位以上取得（卒業要件）**

3

共同学科等の課程を修了した学生に構成大学による連名の**学位（共同学位）を授与**

# 共同教員養成課程のメリット★

## 両大学から多彩な指導を受け、多様な価値観を学べる！

佐賀大学の教員の授業は主に対面で、熊本大学の教員の授業は主にオンラインです。
多彩な教員の講義を受けることで、多様な価値観を育み、幅広い知見を持つ教員を養成します。

## 専門知識×実践的指導でクオリティの高い授業を受けられる！

佐賀大学の強みである、異校種同士の連携や特別支援教育の実践的な学びに、
熊本大学の産学官連携によるICT教育などの実践的な学びを加え、質の高い学びができます。

## 様々な交流により教職への意欲や協働力を醸成できる！

両大学の学生がともに受ける授業では、協働のグループワークやプレゼンテーションを行います。大学を超えた交流を行うことで教職への意欲を高め、教育現場に欠かせない協働力を身につけます。

# 共同教員養成課程の特色ある開講方法

## 共同科目（31単位）

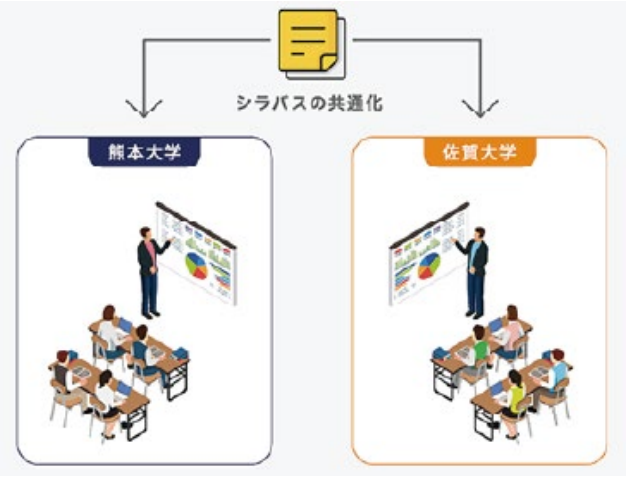
一方の大学の教員が両大学の学生に向けて開講します。
オンラインでの遠隔授業や教員の移動による対面授業。

## シラバス共通科目

両大学でシラバス（授業内容）を共通にして、基本的に同じ内容で開講する科目です。

## 独自科目

一方の大学のみで開講する科目です。
講義の他、実技・実習・演習など。



# 共同教員養成課程で取得可能な教員免許

**共同教員養成課程により、取得できる免許が増えました！**

| 種　　類 | 免許教科 |
|---|---|
| 小学校教諭１種免許状 | |
| 中学校教諭１種免許状 | 国語、社会、数学、理科、音楽、**美術**、保健体育、技術、家庭、英語 |
| 高等学校教諭１種免許状 | 国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、**美術**、書道、保健体育、家庭、**工業**、英語 |
| 特別支援学校教諭１種免許状（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者） | |
| 幼稚園教諭１種免許状 | |

# 志，挑戦，そして未来へ